

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	広報発行事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	04	01
施策	6-1	市民参加の地域社会づくり		主管課	秘書広報課			
				主管課長	中野 秀紀			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全市民	意図	市政に関する情報を定期的に市民に対し提供する。
事業内容	広報ながれやま（月3回。年間37回のうち3回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）する。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和27年9月20日流山町報創刊号発行、昭和36年5月15日から名称を「広報ながれやま」に変更。昭和38年8月から発行日が毎月1日・15日となり、平成15年6月1日号から単色刷りに変更、平成18年度から毎号8頁に増頁した。平成19年度に号外号（年4回）の編集業務を、平成20年度からは通常号（年24回）の編集業務をアウトソーシング。平成22年6月から1日・11日・21日の月3回発行となり、11日号は特集号（年3回）を除き自前で作成。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市の情報を広報ながれやまから得た人の割合	77.96	76.60	71.85	%	↑↑↑
②	市の情報をホームページから得た人の割合	33.89	34.07	34.92	%	↑↑↑	該当者/回答者
③	広報ながれやまを読んでいる人の割合	80.91	81.25	74.53	%	↑↑↑	該当者/回答者
④	広報ながれやまの内容や情報量に満足している人	67.91	68.29	70.83	%	↑↑↑	該当者/回答者
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	市民活動や街の話題・活躍する市民等を紹介することで、読者である市民に対し、市への親しみや愛着・誇りをもつていただく効果。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	市民の割合が増加しているが、インターネット環境がない等の理由から紙媒体での情報提供を望む市民も多く、7割超が広報から情報を得ている現状である。市の情報をホームページから得た人の割合も微増している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	74,594,518	72,741,872	70,976,002				
事業費(b)(円)	43,633,518	44,422,372	43,268,502				
うち一般財源	43,633,518	44,422,372	43,268,502				
職員給与と費(c)(円)	30,961,000	28,319,500	27,707,500				
人役・職員(人)	4.00	4.00	4.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	受託者と連携し、より効率的な編集作業を行う。紙媒体だけでなく、Web上の広報やアプリの活用を促進する。	③取組の課題	1号あたりの編集期間が短いことから、効率的であると同時に正確な作業が求められる。
②今年度(H29)に実施した取組	受託者と連携し、効率的な編集作業となるよう努めた。市ホームページのリニューアルでは、検索ボックスの仕様を改善し、広報IDでの検索利用を促進した。	④今後(H30以降)の改善計画	無理のない編集日程を組み、受託者と広報担当者とのチームワークにより、正確かつ迅速な編集作業を行う。新聞未購読世帯に向け、Web上の広報やアプリの周知を図る。